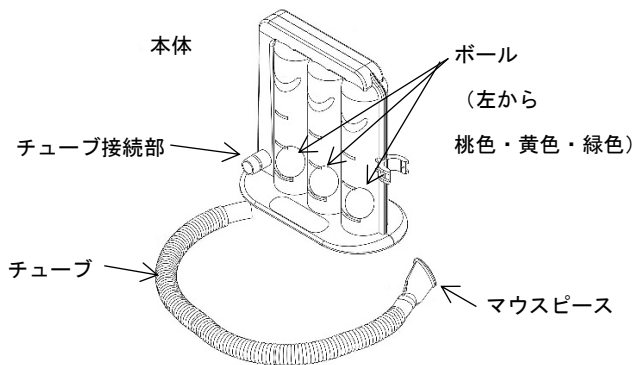


機械器具（58）整形用機械器具
一般医療機器 非能動型呼吸運動訓練装置（11634001）
トライボールG T

【禁忌・禁止】
<使用方法>
・本品を同一患者以外に使用しないこと

【形状・構造及び原理等】

1. 形状、構造
本品は、本体、チューブ（マウスピース付き）で構成する。
3つの筒状構造で各筒内部にボール1個を内蔵し各筒は連結して
いる。
同一患者専用用品であり、未滅菌品である。



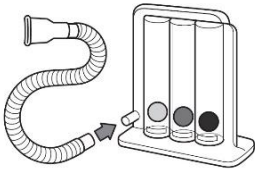
名 称	機 能
本体	チューブ（マウスピース付き）を接続し息を吸い込むと吸気流量を示す。
ボール	吸気流量に応じて上昇する。
マウスピース	口に咥え、息を吸うために使用する。チューブに付属している（取り外し不可）。
チューブ	マウスピースと本体のチューブ接続部とを連結する（チューブとマウスピースは取り外し不可）。
チューブ接続部（本体の一部）	本体とチューブの接続部

2. 原理
患者が息を吸うと本体の筒内部が陰圧となる。
筒下部の穴より室内空気が流入しボールが上昇することで吸入流量を示す。
ボールは 600ml/秒（桃色）、900ml/秒（黄色）、1200ml/秒（緑色）の順で上昇する。
3. 原材料
マウスピース：ポリエチレン

【使用目的又は効果】
患者の吸気流量を表示し、患者に刺激を与えて換気を改善する非能動型の器具である。

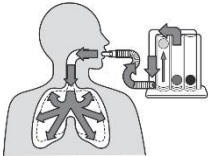
【使用方法等】
1. 使用前の準備
① 担当の医師や医師に指示を受けた専門の医療従事者より吸気流量、吸気維持時間、吸引回数（訓練回数）を確認する。
② 本体、チューブ（マウスピース付き）に亀裂や変形が無いこと、表面及び内部に汚れや水分が無いことを確認する。

③ 本品を組み立てる。

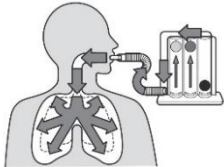


- ④ 吸引持続時間(秒)がすぐに確認出来る様に時計を用意する。
2. 使用の開始
- ① 本体を垂直に立てる。
② 背筋を伸ばし楽に座る。
③ 通常通りに息を吐き出した後、マウスピースを唇でしっかりとくわえる。
④ ゆっくりと息を吸い、筒内のボールを浮かせる。
⑤ 指示された持続時間の吸気を続け、ボールが浮いた状態を保つ。

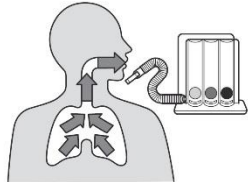
<少ない吸気量で練習する場合>
3個のボールの内、桃色のボールのみが筒の最上部まで上がるように、なめらかに息を吸い、その状態を3秒間続ける。
このとき、2個目のボールが筒の中を上下しないように注意する。



<吸気量を多くする場合>
3個のボールの内、桃色と黄色のボールを出来るだけ長く筒の最上部まで上げ続けるように、なめらかに息を吸い込む。この時3個目のボールが筒の中を上下しないように注意する。



3. 訓練の繰り返し
吸気した後はマウスピースを唇から離し息を吐き出す。
身体のを抜いてリラックスし、しばらく通常の呼吸を行う。
担当の医師や医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従って、練習を繰り返す。



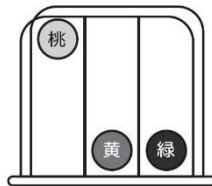
4. 使用後の処置
- ① 使用後のマウスピースはチューブから取り外さず、水道水で下向きにして洗浄すること。
② チューブに水滴が入らないように注意を払いながら洗浄し、洗浄後はペーパータオルで水滴をふき取ること。
③ チューブに水滴が入った場合は十分に乾燥させること。
④ 本体、チューブ（マウスピース付き）は直射日光を避けた清潔な場所で保管すること。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

<吸気流量の目安>

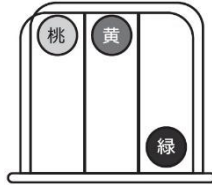
1 個 = 600 ml / 秒

桃色のボールが筒の最上部にあるとき



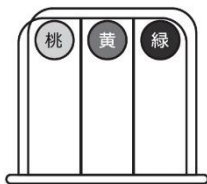
2 個 = 900 ml / 秒

桃色と黄色のボールが筒の最上部にあるとき



3 個 = 1200 ml / 秒

3 個全部のボールが筒の最上部にあるとき



問い合わせ先：コヴィディエンジャパン株式会社

カスタマーサポートセンター

0120-998-971

外国製造業者：GaleMed Limited Taipei Branch（台湾）

【使用上の注意】

- ・担当の医師や医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従い本品を使用すること。[健康被害発生のおそれ]
- ・本品を使用する前後にマウスピースを水道水で洗浄後、振って乾かすこと。[健康被害発生のおそれ]
- ・マウスピースはチューブから取り外さず、水道水で下向きにして洗浄すること。[健康被害発生のおそれ]
- ・チューブに水滴が入らないように注意を払いながら洗浄し、洗浄後はペーパータオルで水滴をふき取ること。[健康被害発生のおそれ]
- ・チューブに水滴が入った場合は十分に乾燥させること。[健康被害発生のおそれ]
- ・本品を同一患者専用として使用すること。[健康被害発生のおそれ]
- ・本品の適切な使用を確実にするため医師の指導や監督が受けられない患者には使用しないこと。[健康被害発生のおそれ]
- ・深く効果的に呼吸できない患者には使用しないこと。[健康被害発生のおそれ]（例：肺活量 < 10 ml/kg、または吸気量が予測値の 3 分の 1 未満の患者）
- ・本品を使用した時に痛みを感じたり、喘鳴が始まったりした場合は、本品の使用を直ちに中止し、医師に相談すること。[健康被害発生のおそれ]
- ・頻繁な呼吸や不規則な呼吸の患者へ本品を使用しないこと。[過呼吸を引き起こすおそれ]
- ・本品を使用した際は定期的にモニターを行うこと。[気圧外傷、低酸素症、気管支痙攣の悪化、疲労などの合併症のおそれ]
- ・本品を使用する場合は口呼吸のみを行うこと。[鼻からの漏れ発生のおそれ]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

湿気、直射日光、熱源から離し、清潔で乾燥した場所に保管すること。

2. 使用期限

外包に記載

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：イワキ株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目 8 番 2 号

取扱説明書を必ずご参照下さい。